

## 見逃せない有名な盆栽作品

ある盆栽に高い評価と価値をもたらす様々な要素の中でも、3つの要素が特に鍵になります。それは、木の年齢、形またはデザイン、そしてその歴史と来歴です。もちろん、鑑賞者が違えば、また様々な理由から、心に響く木は異なり、良さを見出す人の好みは、盆栽鑑賞の喜びの一部分です。とはいえ、美術館は来館者に対し、以下の最も有名な盆栽は必ず見に行くよう推奨しています。

### 「千代の松」と名付けられた五葉松

コレクションの中で最大の盆栽の1つ、千代の松は、総高1.6メートル、横幅が1.8メートルあります。水平線に沿って伸びる枝から広大な風景感が伝わり、一方、木の形は全体として、日本の真夏の波状雲の形を連想させます。

### 「轟」と名付けられた蝦夷松（蝦夷のスプルース）

日本の最北端の島、（昔は蝦夷として知られていた）北海道の森からおよそ100年前に取られた、コレクションの中では最も古いこの木は、樹齢1,000年前後になります。世界で最も古い松の盆栽の1つと考えられています。

### 花梨（カリン）

このおよそ150年物の盆栽の壮大な見た目は、雄大な森の主を連想させ、十分に成長した木の威厳を全て備えています。その非の打ち所がない系譜には、複数の著名な人物が所有していたことも含まれ、中でも特に岸信介元総理大臣（1896年-1987年）は有名です。この木は1980年代に日本盆栽協会によって貴重盆栽（文化的に重要な盆栽）第一号に認定されました。